

作業手順書

作業名	CLTパネル建方作業	施工会社名	
工法等	CLTパネル工法	工事名	
作業期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	担当職長名	
作成年月日	令和 年 月 日	改訂年月日	令和 年 月 日
作成者		改訂年月日	令和 年 月 日

使用設備・機械

(参考例)

・〇〇tラフタークレーンなど

使用工具・機器

(参考例)

電動ドライバー・電動インパクトレンチ・電動木エドリル・電動丸のこ・ルーター・トリマ

CLT吊り金物、ベルトスリング・ワイヤー・チェーンブロック・レバーブロック・トラワイヤー・介錯ロープ・レンチ・大工道具一式

灯光器・電光ドラム・介錯ロープ など

安全設備・保護具

(参考例)

保護帽・保護メガネ・安全靴・墜落制止用器具・保護手袋・防塵マスク・親綱・スタンション・単管・単管ベース・安全ブロック

バリケード・カラーコーン・トラロープ・安全標識・無絨など

使用資材

(参考例)

枕木・リン木・地組架台・雨養生シート・敷き鉄板 など

作業に必要な資格と配置予定者(作業主任者・作業指揮者・監視人等)

※資格者は本書を携帯する

(参考例)

・木造建方作業主任者

・職長(安全衛生責任者)教育

・玉掛技能講習 など

施工会社・関係者周知記録(サイン)

(年 月 日)

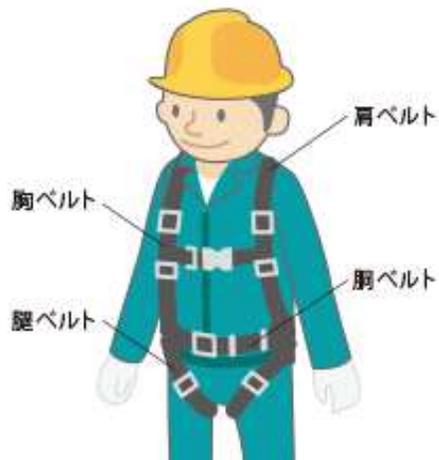
※作業計画(図面、要領書、手順書)の確認

備考(打合せ事項・確認事項等)

リスク評価

重大性(危険の大きさ)	4	死亡
	3	重傷(1ヶ月を超える休業)
	2	ひどい怪我(休業4日以上)
	1	軽傷(不休・休業3日以内)
頻度(可能性)	3	災害発生の可能性が高い
	2	災害発生の可能性がある
	1	災害発生の可能性がほとんどない
評価点	重大性 + 頻度	
評価	高危険度 ★★★(5~7) 中 " ★★ (3~4) 低 " ★ (2)	

工程	作業手順	作業の急所	危険性・有害性 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険性・有害性の低減措置	実施者
準備作業	・KYミーティングを行う	・現場内で	・立ち入り禁止場所に進入する。	2	2	4	★★	・他業者の作業エリアなどに立入禁止措置を行う。 ・ミーティング場所を事前に確認する。	職長
	・点検を行う	・墜落制止用器具、保護具の ・使用工具の ・吊り具の	・墜落制止用器具の十分な機能が発揮されない。 ・不意に稼働した電動工具でケガをする。 ・吊り具の破損による、吊り荷の落下。	3	1	4	★★	・着用時、2人以上で指差し確認を行う。 ・通電せずに、点検を行う。 ・コンセントの抜き差しは、使用者自身で行う。 ・安全装置の稼働確認を行う。 ・日常的に使用前点検を行う。 ・点検後はテープ、シールを貼り管理を行う。	全員
	・立入禁止措置を行う	・作業エリア内の	・危険な位置に第三者が進入する。	2	2	4	★★	・施工計画に基づいて、適切な範囲を区分けする。 ・安全通路位置を見やすい場所に表示する。 ・他業者の作業エリアなどに立入禁止措置を行う。	職長 職長



↑立入禁止措置例

工程	作業手順	作業の急所	危険性・有害性 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険性・有害性の低減措置	実施者
材料搬入	・荷受け準備をする	・クレーンを据え付け ・シートで養生し ・リン木、架台を置き	・敷き鉄板の下部に地下ピット等があり、 地面が沈み込み横転する。 ・段差等でつまづいて転倒する。 ・腰を痛める。	2	2	4	★★	・作業開始前、作業中に周囲状況の確認を行う。 ・重量物を運搬する際は適切な人数、体勢で行う。	作業者
	・車両を誘導する	・公道から現場内に ・構内を走行時に	・転回時に人、モノを巻き込み、ケガをする。 ・出会い頭の衝突事故。	3	2	5	★★★	・立入禁止措置を行う。 ・走行時、徐行を徹底する。	職長 運転手
	・荷下ろしを行う	・荷台に登り ・クレーンで揚重し ・手おろしで	・昇降時、荷台上作業時にバランスを崩して転落する。 ・荷重オーバーによりクレーンが横転する。 ・玉掛不良による、荷振れ、挟まれ、吊荷の落下。 ・挟まれ、つまづき、転倒する。 ・腰を痛める。	3	2	5	★★★	・昇降設備を設置する。 ・不安定な体勢で作業をしない。 ・作業半径・対応荷重の確認を行う。 ・有資格者による、確実な玉掛を行う。 ・揚重時、吊荷から適切な距離をとる。 ・介錯ロープを使用する。 ・通路の確保と障害物の整理をする。 ・体力に応じ、無理をしない。	作業者 操縦者 玉掛者
	・仮置きする	・リン木、架台上に	・仮置きした材の倒壊、荷崩れが発生する。 ・リン木間隔の空き過ぎにより、材が折損し 荷崩れを起こす。	3	1	4	★★	・縦置きせず、平積みを行う。 ・積み上げ高さに注意する。 ・材が水平になる様に仮置きする。 ・リン木間隔は1.5～2m程度とする。	全員 全員



↑ 搬入荷姿



↑ 縦吊りをせず、平吊りとする

工程	作業手順	作業の急所	危険性・有害性 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険性・有害性の低減措置	実施者
壁 C L T 建 方	3)本締め作業 ・引きボルトを本締めする	・足場上で	・足場上からバランスを崩して墜落する。 ・座金、ナット等を落とし、第三者が負傷する。	2	2	4	★★	・墜落制止用器具の使用を徹底する。 ・身を乗り出しての作業をしない。 ・反動をつけた力作業をしない。 ・電工バケツ等を使用し、手元を確かめながら作業する。 ・安定した体勢で作業する。 ・上下作業とならないように、声を掛け、注意喚起をする。	全員 作業者
	・ドリフトピンを打込む	・足場上で	・足場上からバランスを崩して墜落する。 ・ドリフトピン、手工具を落とし、第三者が負傷する。	2	2	4	★★	・墜落制止用器具の使用を徹底する。 ・身を乗り出しての作業をしない。 ・電工バケツ等を使用し、手元を確かめながら作業する。 ・安定した体勢で作業する。 ・上下作業とならないように、声を掛け、注意喚起をする。	全員 作業者
	・せん断金物を取り付ける	・ビス留めの ・足場上で	・ビス、ドリフトピン、工具を落とし、第三者が負傷する。 ・足場上からバランスを崩して墜落する。	2	2	4	★★	・墜落制止用器具の使用を徹底する。 ・身を乗り出しての作業をしない。 ・電工バケツ等を使用し、手元を確かめながら作業する。 ・安定した体勢で作業する。 ・上下作業とならないように、声を掛け、注意喚起をする。	全員 作業者
	○使用工具 ・電動ドライバー&四角ビット								
									
									
								↑脚部金物ビス留め例	

工 程	作業手順	作業の急所	危険性・有害性 (予測される危険)	重 大 性	頻 度	評 価 点	評 価	危険性・有害性の低減措置	実施者
壁 C L T 建 方	4)木カパー、埋木取り付け ・木カパー、埋木を取り付ける	・足場上で ・狭い箇所の	・足場の隙間からバランスを崩して墜落する。 ・材料、工具を落とし、第三者が負傷する。 ・金槌で手指を打つ。 ・丸ノコ等による手指の切断。 ・電動工具から漏電し、感電する。	2	2	4	★★	・墜落制止用器具の使用を徹底する。 ・身を乗り出しての作業をしない。 ・電工バケツ等を使用し、手元を確かめながら作業する。 ・安定した体勢で作業する。 ・上下作業とならないように、声を掛け、注意喚起をする。 ・三芯、二重絶縁、作業前点検を行う。 ・手元を確かめながら作業を行う。 ・軍手をしたままの作業をしない。 ・作業エリア内の片付けを随時行う。	全員 作業者
	5)補修、クリーニング ・補修、クリーニングを行う	・足場上で	・足場の隙間からバランスを崩して墜落する。 ・化学薬品が飛散し、目や口に入る、また手に付く。 ・第三者が薬品に触れ、負傷する。	2	1	3	★★	・墜落制止用器具の使用を徹底する。 ・身を乗り出しての作業をしない。 ・防護メガネを使用する。 ・保護手袋を使用する。 ・周囲への飛散防止措置を行う。 ・立入禁止措置を行う。	全員 作業者 職長



↑ 箱彫りの埋木作業例

工程	作業手順	作業の急所	危険性・有害性 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険性・有害性の低減措置	実施者
床(屋根)CLT建方	1)敷き込み前準備 ・地組の準備をする	・架台を設置し ・金物を選別し	・運搬時につまづき、転倒する。 ・大きな金物に手足を挟み込む。	1	2	3	★★	・通路、障害物の整理を行う。 ・作業前に周囲の確認を行う。	全員 作業者
	・金物取付を行う	・材料を架台の上に置き ・材料の下に入り ・工具を使用して	・架台から材料が落下する。 ・金物が落下し、負傷する。 ・電動工具による巻き込まれ、挟み込みの負傷。	2	2	4	★★	・材料を乗せる前に架台の足元の状態を確認し、 水平になる様に設置する。 ・共同作業者と声の掛け合いを行う。 ・安定した体勢で作業する。 ・手足元の確認を行う。	作業員
	・敷き込み位置の墨付けを行う	・梁天端等に	・高所からバランスを崩して墜落する。	3	2	5	★★★	・高所作業時は墜落制止用器具の使用を徹底する。	作業員
	2)床(屋根)CLT敷き込み ・吊り金物取付を行う	・アイボルト式の	・ナットの締め忘れ、締め付け不足により、 揚重時に材料が落下する。	3	1	4	★★	・吊り金物取り付け後、ナットが確実に 締まっていることを確認する。	作業員 作業員
・荷揚げする	・玉掛を行い ・長尺部材を	・荷重オーバーにより、クレーンが横転する。 ・玉掛不良により、材料の飛来、落下。 ・重心のズレによる、荷振れ、はさまれ。	4	1	5	★★★	・アウトリガーを最大まで張り出す。 ・作業半径、対応荷重の確認を行う。 ・有資格者による確実な玉掛を行う。 ・介錯ロープを使用する。 ・(下部)立入禁止措置を行う。 ・周囲への注意喚起を行う。	操縦者 玉掛者 職長 全員	
									
	↑ ナット付きプレート+アイボルト								
									
		↑ アイボルトを使用した吊り込み例							

工程	作業手順	作業の急所	危険性・有害性 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険性・有害性の低減措置	実施者
床 (屋根) CLT 建方	・敷き込みを行う	・足場に近い位置で ・外縁部や開口の付近で ・操縦者が見えにくい (確認できない)位置で	・足場から墜落する。 ・材料が足場と接触する。 ・手足を挟み込む。 ・後退り作業により、開口等から転落する。 ・急な荷の降下、荷振れにより手足を挟み込む。	3	2	5	★★★	<ul style="list-style-type: none"> 墜落制止用器具の使用を徹底する。 身を乗り出した作業をしない。 反動をつけた力作業をしない。 作業前、作業中に周囲、足元を確認し注意する。 共同作業者と声を掛け合い作業する。 材下部へ手足を入れない。 後退り作業、移動を行わない。 無線を用いて、操縦者と確実な合図を行う。 先行して親綱を取り付ける。 先行して親綱を張れない箇所がある場合は、落下防止の措置をとる。 	全員 作業者
	・床の位置を調整する	・カケヤなどで打撃を加え ・部材を少し吊り上げて	・カケヤの振り下ろし時に足場や人にぶつかる。 ・床の隙間などに手足を挟み込む。	2	2	4	★★	<ul style="list-style-type: none"> 作業時は周囲の確認を行う。 部材の隙間、振り方向に手足や体を入れない。 	作業者
	・床(屋根)CLTを接合する	・合板スプレインを留め付け ・せん断金物を取り付け	・ビスの打込み時、手指を挟み込む。 ・合板を叩き込む際に金槌で手指を挟み込む。 ・丸ノコ等による手指の切断。 ・電動工具から漏電し、感電する。 ・ビス、工具、金物を落としてケガをする。	2	2	4	★★	<ul style="list-style-type: none"> 作業時は手元を確かめながら作業する。 共同作業者と声を掛け合いながら作業する。 安定した体勢で作業する。 三芯、作業前点検を行う。 軍手をしたままの作業をしない。 電工バケツ等を使用し、手元を確かめながら作業する。 安定した体勢で作業する。 上下作業とならないように、声を掛け、注意喚起をする。 作業エリア内の片付けを随時行う。 作業時、移動時の周囲確認をする。後退りをしない。 	作業者 全員
									
									
	↑ 床CLT敷き込み例		↑ 合板スプレインの留め付け						

工 程 床 (屋 根) C L T 建 方	作業手順	作業の急所	危険性・有害性 (予測される危険)	重 大 性	頻 度	評 価 点	評 価	危険性・有害性の低減措置	実施者
	3)本締め作業 ・引きボルトを本締めする	・足場上で	・足場上からバランスを崩して墜落する。 ・座金、ナット等を落とし、第三者が負傷する。	2	2	4	★★	・墜落制止用器具の使用を徹底する。 ・身を乗り出しての作業をしない。 ・反動をつけた力作業をしない。 ・電工バケツ等を使用し、手元を確かめながら作業する。 ・安定した体勢で作業する。 ・上下作業とならないように、声を掛け、注意喚起をする。	全員 作業者
	・せん断金物を留め付ける	・足場上で	・足場上からバランスを崩して墜落する。 ・ビス、ドリフトピン、工具を落とし、第三者が負傷する。	2	2	4	★★	・墜落制止用器具の使用を徹底する。 ・身を乗り出しての作業をしない。 ・電工バケツ等を使用し、手元を確かめながら作業する。 ・安定した体勢で作業する。 ・上下作業とならないように、声を掛け、注意喚起をする。	全員 作業者
	・合板スプラインを留付ける	・ビスで ・必要長さに切り出して ・屋根上(高所)で	・ビスの打込み時、手指を挟み込む。 ・合板を叩き込む際に金槌で手指を挟み込む。 ・丸ノコ等による手指の切断。 ・電動工具から漏電し、感電する。	2	2	4	★★	・作業時は手元を確かめながら作業する。 ・共同作業者と声を掛け合いながら作業する。 ・安定した体勢で作業する。 ・三芯、二重絶縁、作業前点検を行う。 ・軍手をしたままの作業をしない。 ・作業エリア内の片付けを随時行う。 ・作業時、移動時の周囲確認をする。後退りをしない。	作業者 全員
	4)補修、クリーニング ・補修、クリーニングを行う	・足場上で	・足場上でバランスを崩して墜落する。 ・化学薬品の飛散し、目や口に入る、また手に付く。 ・第三者が薬品に触れ、負傷する。	2	1	3	★★	・墜落制止用器具の使用を徹底する。 ・身を乗り出しての作業をしない。 ・防護メガネを使用する。 ・保護手袋を使用する。 ・周囲への飛散防止措置を行う。 ・立入禁止措置を行う。	全員 作業者 職長

工程	作業手順	作業の急所	危険性・有害性 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険性・有害性の低減措置	実施者
				1	2	3	★★		
片付け	・残材の整理をする	・人の多い場所で	・残材等につまづき転倒する。 ・人、物と接触し、転倒、落下する。	1	2	3	★★	・手足元を確認する ・安全通路を移し、置場所をきめる	全員
	・片付ける	・使用済み工具を ・吊り具等を	・電動工具から漏電し、感電する。 ・運搬時にスリング等が絡まり、転倒する。	2	1	3	★★	・コードリール以下は分電盤のコンセントから取外し点検する。 ・固定型の機械はスイッチを切り、点検後に雨養生する	全員
	・廃材を廃棄する	・元請け指定の場所に	・尖ったもので手指を切る。 ・薬品に触れて、負傷する。	1	2	3	★★	・分別、整理を徹底して廃棄する ・手足元を確認する ・ゴミ袋、バツカン等に不用意に手を入れない。	全員
	・資材や廃材を積み込む	・手運びで ・揚重を行い	・運搬中に資材が落下し、ケガをする。 ・積み込み時のバランスが悪く、荷崩れする。 ・玉掛不良により吊り荷が落下する。	2	1	3	★★	・運搬時、移動時には周囲を確認する ・荷姿を確認し、積み込みを行う。 ・有資格者による確実な玉掛を行う	全員 玉掛者